

滋賀大学経済学部後援会だより

発行／彦根市馬場一丁目1-1 滋賀大学経済学部後援会 発行責任者／土田一善

目次	
方針と課題	1
卒業式・答辞	2
後援会総会・入学式	3
教育カリキュラム	3
SIFE世界大会出場	5
学生自主企画プロジェクト	5
新就職支援体制	7
入試状況	8
就職状況	9
国際交流	11
平成18年度決算	14
平成19年度予算	15
学年暦	16

方針と課題

平成18年度から国立大学法人も含めすべての公共部門が5年間5%以上の人件費削減を求められています。情勢や環境にはきわめて厳しいものがありますが、平成19年度を「中期計画を達成し未来を展望する年」とし、一昨年に策定した財政計画を堅持しながら学生募集力と就職力のアップ、学部がこれまで進めてきた教育改革の定着化、学生支援サービスの充実、施設の整備、大学長期ビジョンの検討などに取り組みます。

具体的には以下の8の重点課題

- ① 「平成20年度評価」に向けて年度内に中期計画をやり遂げる
- ② 学生募集力と就職力を強化し、大学のブランド力を高める
- ③ 大学院の定員確保対策を検討し必要な措置を講じる
- ④ 教育研究体制と経営基盤の現状を分析し改善策を検討
- ⑤ 滋賀大学教育研究支援基金のキヤンペーンを展開
- ⑥ 既得GP（8頁参照）の推進と競争的外部資金獲得への新たな努力
- ⑦ 国宝彦根城400年祭への協賛と地域・大学間連携の充実
- ⑧ 大学の将来構想に関する検討組織の設置

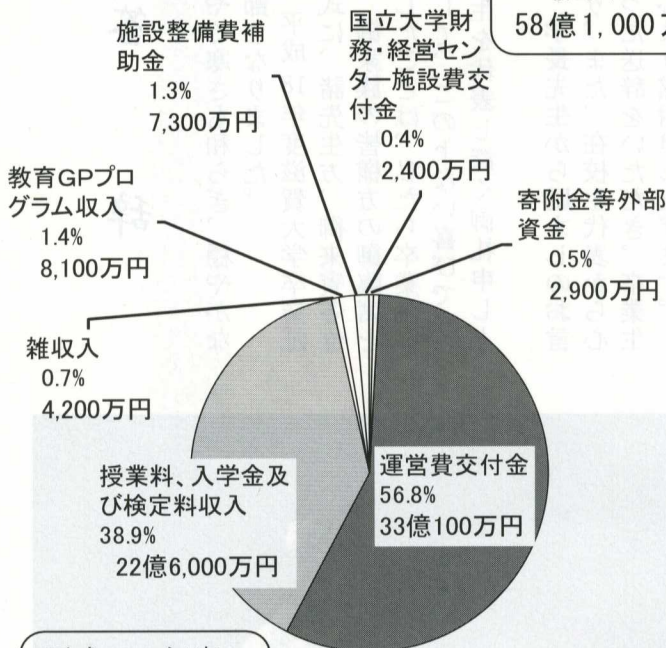
なお、国立大学法人評価委員会による各大学の中期計画実施状況に対する評価は、平成16～19年度の4年間の実績が最終のものとなります。評価のポイントは、①個性豊かな国際的にも存在感のある大学をめざしているか、②学長のリーダーシップのもと機動的・戦略的な運営がされているか、③国民に説明責任が果たされ、社会に開かれた運営になっているか、とされています。

今年度は、本学の計画総仕上げのつもりで全力を尽くす所存であり、ぜひ、ご協力のほどよろしくお願い致します。

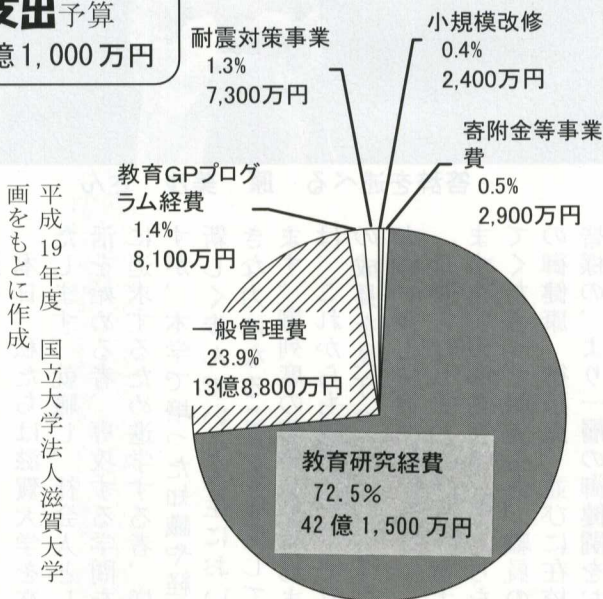
（成瀬学長）
平成19年度パンフレット「滋賀大学」をもとに作成

滋賀大学の予算

平成19年度
収入 予算
58億1,000万円



平成19年度
支出 予算
58億1,000万円



平成19年度 国立大学法人滋賀大学 年度計画をもとに作成

